



～愛鷹地区での取り組み～

沼津市では、愛鷹地区コミュニティを「沼津市男女共同参画推進事業モデル地区」として地域の行事に男女共同参画の視点を取り込み、地区のみなさんと2年間に渡り活動を行ってきました。

今回、愛鷹地区での事業を終了するにあたり、事業報告として「男女共同参画情報誌ハーモニー特別号」を共に研究・実践してきた愛鷹地区のみなさまと作成しましたのでお届けします。

平成23年度・24年度と、愛鷹地区は「沼津市男女共同参画推進事業モデル地区」として男女共同参画推進事業に取り組みました。

最初の取り組みは、静岡県立大学教授 犬塚協太先生のお話と、すでにモデル地区として取り組みを行った、第五地区の実践発表などを聞くことでした。

愛鷹地区の組織は、各自治会及び各種団体合わせて50団体にもなり、正副会長が約110名程になります。その110名が一同に会する機会が多くあり、会合前に犬塚先生の講義を受けるチャンスが幾度もありました。

この講義を受けながら、現在行っている活動の中にも、多くの男女共同参画があることと、男女共同参画を広げるための行動も活動も十分にあると感じました。

愛鷹地区では、潜在的に男女共同参画が含まれる事業が数多くあり、その部分に於いては大変取り組みやすい事業であると思いました。

2年間の事業を終えて、団体によっては男性のみというところもありますが、女性のリーダーが力を発揮する場面もあり、男女共同参画推進事業を通して、男女共同参画意識を各種団体・グループ・個々が持つようになり、事業がより良く行われていったと感じました。

最後に、御指導頂きました犬塚先生に感謝を申し上げますとともに、沼津市の発展のため、男女共同参画推進事業が大いに拡がることを願います。

愛鷹地区コミュニティ推進委員会
会長 勝亦 芳紀

あしたか納涼まつり



子ども・お年寄り・親子連れなど、多くの世代が参加しており、愛鷹地区の地域活動の活発さが伺えます！

盆踊りにも、子どもからお年寄りまで多くの世代が参加しており、浴衣姿の女性に混じり、男性グループも多く参加している姿が見られました！

「まつり」や「キャンプ」を通じた地域の男女共同参画



わいわいキャンプ



多くの子ども達が参加しており、男だから女だからということに関係なく、テントを立てたり、火起こしや料理などに夢中でした！

防災訓練



「男女共同参画の観点から地域防災にどう取り組むのか」という課題は、男性・女性それぞれの視点を活かすなど、避難所の設計やルール作りまでを含めた、抜本的な対策が求められています！



愛鷹コミュニティまつり



地域活動の発表・展示を通して、住民の親睦・交流を深める秋の慣例行事では、地域子育て支援センターの展示で、男性による育児参加デー「メンズデー」などの紹介がされており、地域の子育てに関する男女共同参画の推進を支える拠点としての機能が紹介されていました。

食事の準備

地域のイベントの際に、みんなで食べる食事は大切なコミュニティ活動の一環です！

食事の準備には、男性・女性に関係なく、みんなの力が必要です！



優しさをこころ丸ごとあしたかに

平成23年から愛鷹地区コミュニティが「男女共同参画推進事業モデル地区」として取り組みを始めることとなりましたが、最初に静岡県立大学教授犬塚協太先生の講義を聞いたときには、雲をつかむような感覚でした。

愛鷹地区は各種団体が50あり、その団体の代表者は男性が49名、女性が1名でした。女性の代表者は少ないのですが、実際のボランティア活動には多くの女性が参加しております。例えば、社会福祉協議会の事業では90%が女性です。

一つの事業を担うとき、男性・女性と線引きする傾向があり、事業の内容によっては別々に携わることも多いのは事実です。

しかし、一つの例を挙げますと、わいわい事業の一環である「男性料理教室」に参加した男性が、今では「子どもパン教室」や「ケーキ教室」での指導者となって一緒に活動するようになりました。まさに男女共同参画、そのものの活動です。

今後の自治会活動やコミュニティ企画会議などの中に、より多くの女性代表者が加わることで、更に多くの参加者が男女共同参画に対する理解を深めていくと思います。

最後に、何度もアドバイスを頂きました犬塚先生に感謝を申し上げますとともに、愛鷹地区の更なる活動を願います。

愛鷹地区コミュニティ推進委員会 事務局長 佐藤 朱美

◆モデル地区事業の2年間で振り返って

愛鷹地区での2年間を通し一番強く感じることは、この地区の住民の皆さんが持つ「地域力」とでもいえるべき潜在的なパワーでした。年間の行事数が大変多く、しかもその行事に関わる住民の皆さんは、いろいろな世代にまたがりながら、男女ともに積極的で、相当な数に上っていました。

地域で男女共同参画を推進していく上で、こうした「地域力」は、とても大切な基盤です。愛鷹地区では、こうした基盤を活かしつつ、今までの事業展開を男女共同参画の視点から少し修正していただくだけで、大きな効果が挙げられたと思います。隠れた「地域力」を活かし、男女共同参画を効果的に進める。そのヒントが愛鷹地区にはたくさん埋まっていると思います。

静岡県立大学国際関係学部 教授 犬塚 協太

編集：愛鷹地区コミュニティ・沼津市

発行：沼津市 企画部 市民協働課 協働推進係

〒410-8601 沼津市御幸町16番1号

TEL：055-934-4807

FAX：055-931-2606

E-mail：kyodo@city.numazu.lg.jp (平成25年8月発行)

